

平成27年 3月10日

お 知 ら せ

件 名	道内6箇所の重点「道の駅」候補へ選定証授与
-----	-----------------------

お知らせ内容

国土交通省では、地域活性化の拠点となる先駆的な取組を支援するため、重点「道の駅」制度を創設し、平成27年1月30日に重点「道の駅」等を選定しました。

この度、北海道内における重点「道の駅」候補として選定した、6箇所の「道の駅」に対して選定証授与式を行います。

記

1. 日 時 平成27年3月19日（木） 11時30分～12時00分
2. 場 所 TKP札幌駅カンファレンスセンター
（札幌市北区北7条西2-9 ベルヴェオフィスビル3階）
3. 次 第 （1）挨拶
（2）選定証授与（授与者：岡部北海道開発局長）
（3）記念撮影、記者会見
4. その他
 - ・参加される報道関係者の方は、3月17日（火）までに、以下メールアドレスかFAXで事前登録をお願いします。事前登録が無い方は入場を制限させていただく場合がございます。
 - ・一般の方は会場の都合により、参加できませんので御了承願います。

【報道関係者の方の事前登録】

E-mail : hkd-150319guest@hkd.mlit.go.jp

FAX : 011-757-3270

登録内容（社名・役職・氏名（ふりがな）・連絡先（電話とE-mail））

	所 属	役 職 名	氏 名	電 話 番 号
問 合 せ 先	北海道開発局 道路計画課	課長補佐	竹下 正一	011-709-2311 内線5355
		開発専門官	畑山 朗	011-709-2311 内線5845

重点「道の駅」制度の概要

- 全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展しています。
- この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。



《重点「道の駅」に想定される機能》

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能

地域全体の観光案内、宿泊予約窓口等

インバウンド観光の促進

外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM等

地方移住等の促進

地方移住のワンストップ窓口
ふるさと納税の情報提供等

「道の駅」が
活力を呼び、雇用を創出、
地域の好循環へ



地域の元気を創る 地域センター型

地域の産業振興

地方特産品のブランド化、6次産業化等

地域福祉の向上

診療所、役場機能、高齢者住宅等

高度な防災機能

広域支援の後方支援拠点、防災教育等



全国モデル「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に
発揮していると認められるもの

全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、
さらなる機能発揮を重点支援

重点「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援
で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、
関係機関が連携し、重点支援

重点「道の駅」候補

地方整備局長等選定

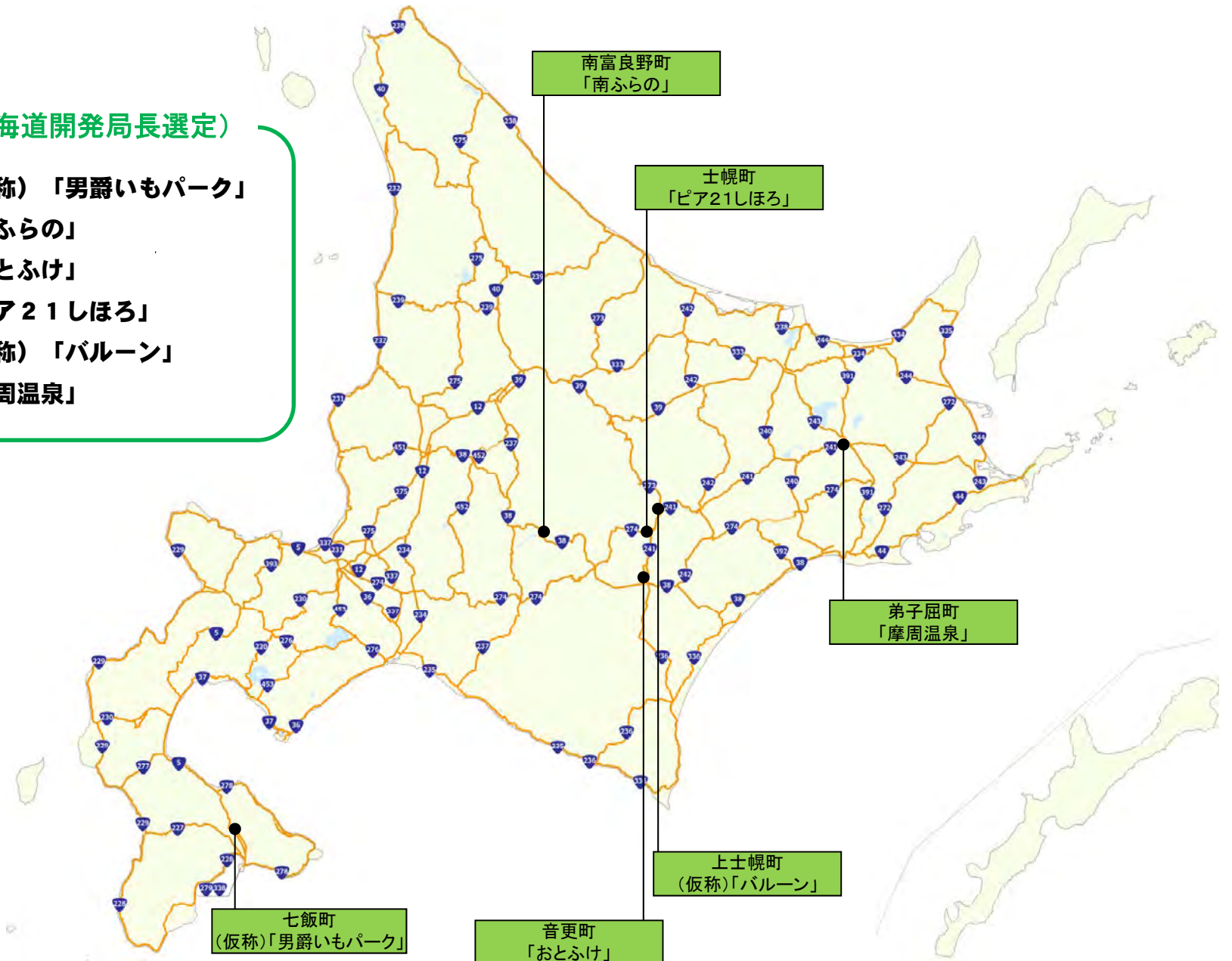
地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的
な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援

北海道開発局管内の重点「道の駅」候補

重点「道の駅」候補(北海道開発局長選定)

- ・七飯町 道の駅(仮称)「男爵いもパーク」
- ・南富良野町 道の駅「南ふらの」
- ・音更町 道の駅「おとふけ」
- ・士幌町 道の駅「ピア21しほろ」
- ・上士幌町 道の駅(仮称)「バルーン」
- ・弟子屈町 道の駅「摩周温泉」



重点「道の駅」候補

道の駅(仮称)「男爵いもパーク」

北海道七飯町

- 北海道の新たな玄関口となる北海道新幹線新函館北斗駅(平成27年度開業予定)の近傍で、大沼国定公園や異国情緒あふれる函館など、魅力ある道南地域の広域観光・交通情報提供を備えたゲートウェイ機能
- 当該地域は男爵イモや西洋農業の発祥の地であり、近代式農機具の展示による歴史的遺産の継承のほか、農産物の生産・販売加工により農業を6次化、商品開発・起業・雇用の場を創出

＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

観光総合窓口
函館・道南エリアの
新たな観光拠点

インバウンド観光
オリンピック海外観光客
のための観光窓口

地方移住等促進
移住に必要な情報の
ワンストップ提供

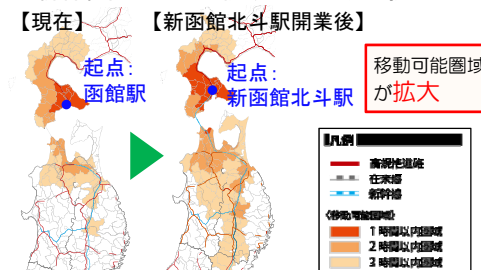
産業振興
6次化農業の拠点

防災
駒ヶ岳噴火に対する防災拠点

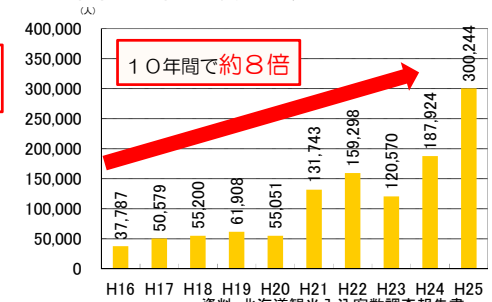


駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)男爵いもパーク	北海道	七飯町	国道5号	新設	平成29年	一体型

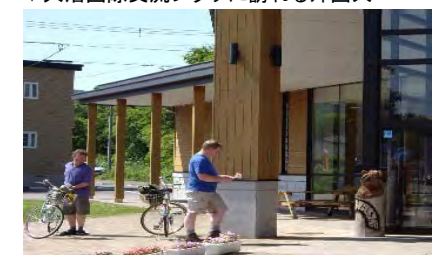
●新幹線開業による移動可能圏域の拡大



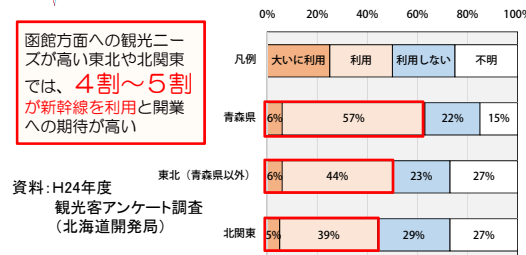
●函館市の外国人観光客数



▼大沼国際交流プラザに訪れる外国人



※各経由地からの所要時間は鉄道・道路利用により、拠点駅⇨各市役所・役場間で算定
※道路利用は、道路交通センサスより混雑時平均旅行速度で算定



＜提案の先駆性・ポイント＞

- 北海道新幹線新函館北斗駅の開業や『東京オリンピック・パラリンピック』キャンプ地誘致とあわせ、**地域情報発信の機能向上**により外国人観光客へ道南の魅力を広くアピール、**広域観光・滞在型観光を促進し交流人口を増加、道南地域経済を活性化。**
- 建設予定地は、年間30万人以上の集客を有する道南食材を活かした商業施設が2施設営業、様々な産業が活躍出来る場として機能しており、「**男爵イモ発祥の地**」をテーマとし、**農産物の生産・販売・加工による6次化農業の拠点機能を加えることで、潜在的な地域資源を活用した新たな商品開発・起業・雇用など、更なる相乗効果が期待。**

＜実施内容＞

- ICTによる情報提供設備をもつ観光案内所を設置
- JNTO外国人案内所の認定を受け、多言語対応可能なスタッフを設置
- サイクルツーリズムに対応したサービスステーションやEV充電器を設置
- 明治時代からの農業近代化にちなんだ収蔵品や機械遺産等を保存展示し、農畜産物等の地産地消施設と一体的に整備
- 「男爵イモ」や道南の素材を活かした料理や菓子等の手作り体験工房を設置
- 活火山駒ヶ岳の噴火に備えた防災拠点としての機能を備えた施設整備

- 観光、雇用、空き屋情報等を発信する総合窓口の設置による地域経済の牽引
- 再生可能エネルギーを活用した先進農業生産の拠点化

＜地方創生拠点としての機能＞
地域センター型

産業振興
農業・林業と連携した園芸施設整備
地場産品を活用したオリジナル製造販売

地方移住等促進
雇用情報・空き家情報の提供を整備

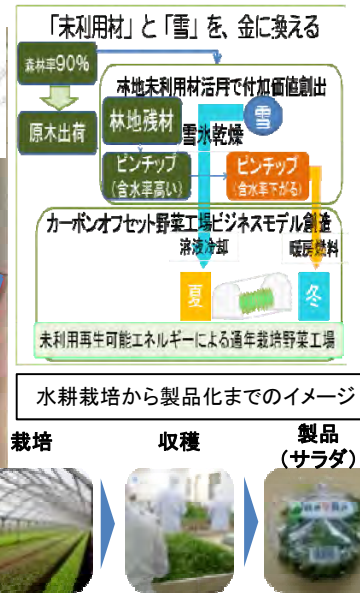
インバンド観光・観光総合案内
外国人にも対応した、
富良野・美瑛観光圏の案内

町の主な機能が「道の駅」に集積

※イメージであり、
今後、変更があります。



道の駅の機能 林産資源活用ビジネスモデル提案



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
南ふらの	北海道	南富良野町	国道38号	既設	平成5年	単独型



＜提案の先駆性・ポイント＞

- 再生可能エネルギー（木質チップ）を利用した水耕栽培施設の設置
隣接する土地に、水耕栽培施設を設置し、木質チップと雪を「雪氷乾燥」に活用することで通年栽培が可能。地域資源を活用し六次産業化を推進し、地元業者の活躍の場を作る。
- 観光振興の場となる道の駅
地域情報と、富良野・美瑛観光圏の情報提供も出来る総合案内を実施。インバンド観光にも対応。
- 防災機能備え、地域の福祉を担う道の駅
防災機能（非常電源・非常食）を備え、災害時には後方支援の拠点になる。また、近傍に診療所を設置することでコンパクト化を目指す。

＜実施内容＞

- 通年稼働できる水耕栽培施設、農産物生産施設を設置し経済発展、雇用促進を図る。
- 地元農産物を活用した六次産業化のための加工施設や直売所の設置
道の駅オリジナル商品（大福・じゃがバター）を提供
- 地域の情報（雇用、空き家、観光（外国人対応含む）等）提供機能を備えた、富良野・美瑛観光圏を統括案内可能な総合案内所の設置
- 地域の特産品を免税で購入できる免税店の設置

○ 商工業の進出等により全道の町で1番の人口を誇る活気ある音更町において、道東自動車道音更帯広ICと直結する国道241号沿いに整備する「道の駅」を十勝圏の玄関口として、地域住民が中心となり十勝の食と農の魅力を発信

<地方創生拠点としての機能>
地域センター型

産業振興
十勝ならではの食や農の魅力発信

観光総合案内
十勝・道東のゲートウェイ

防災
地域住民や道路利用者の防災拠点



十勝ならではの「食」
(乳製品、豆類等農産物、スイーツ)



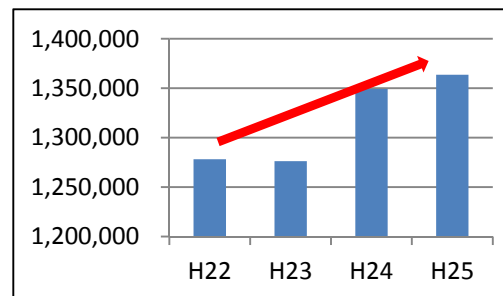
北海道十勝らしい風景
(十勝の広大な大地、空気)



【柳月スイートピアガーデンとの連携】
柳月の工場見学や「道の駅」の直売場を目的として訪れた方に、お互いが双方の情報を発信することで相乗効果が期待できる。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
おとふけ	北海道	音更町	国道241号	既設 移転	平成8年	一体型

▼音更町 観光入り込み客数



H10撮影時(分譲前)



H24撮影時(28社)



北海道町人口ランキング
町では第1位

- 1位 音更町 45395人
- 2位 七飯町 28815人
- 3位 幕別町 27338人

(社) ▼音更町 I.C工業団地企業分譲地契約数の推移



<提案の先駆性・ポイント>

- 基幹産業である農業を活かした農産物や加工品の提供など、十勝の食や農、風景の魅力を発信する新たな拠点を形成
- 十勝や道東の玄関口として、ドライバーの休憩や十勝川温泉、北海道立十勝エコロジーパーク等、観光のゲートウェイとして新たな拠点を形成

<実施内容>

- 6次産業化を支援するための農畜産物の加工研修施設の設置
- 観光案内所の設置
- 外国人旅行者の利便性向上のため免税店許可取得
- 無料公衆無線LAN・EV充電器の設置
- 防災教育・備蓄施設を設置

- 全国シェアの3割を占める十勝の馬鈴薯、道内1位の飼養頭数を誇る牛肉等を東京を始め広島、鹿児島等全国各地へ出荷する等、農業生産額300億円を超える「農村ユートピア・士幌町」として新商品の開発、直売所の整備により情報発信機能を強化。
- 地元教育機関と連携した商品開発などを通じた若手の人材育成の場を創出。

<地方創生拠点としての機能>
地域センター型



<提案の先駆性・ポイント>

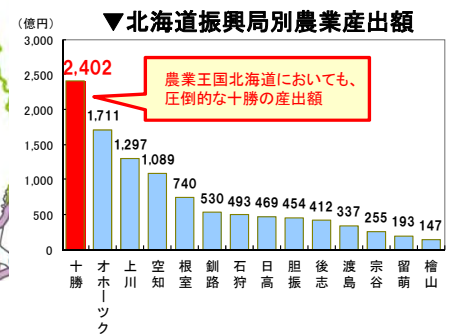
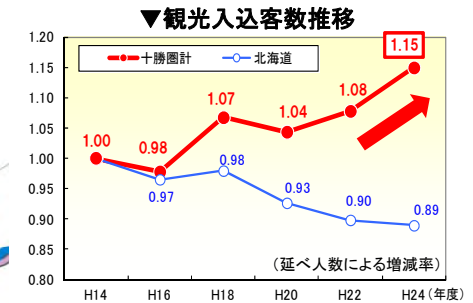
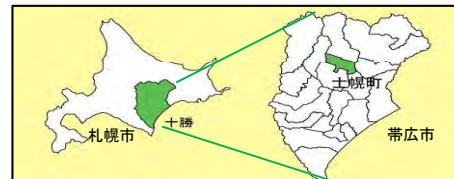
- 地元農畜産物(馬鈴薯、しほろ牛肉、小麦等)の価値を高めるため、加工施設を併設、**JA、商工会、地元高校と新商品開発**、オリジナル商品製造により6次産業化を推進。直売所等を整備し、地場の野菜及び農畜産物加工品の販売を行い、**高齢者の生きがいがづくりの一環**として野菜づくり、手作り加工品づくりを支援し、道の駅で販売を行う。
- 町立士幌高校の**生徒が企画提案**した商品の増産及び新商品開発による“士幌ブランド化”と、**アグリビジネス科**や**フードシステム科**の学生のインターン受け入れを行い、当高校の**体系的農業教育による『ものづくり』の出来る人材育成**と連携して若者による地域の活性化を行う。

産業振興
地域の特産品を活かした産業振興

防災
防災備蓄倉庫

インバウンド観光
観光総合窓口とEV充電設備

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ピア21しほろ	北海道	士幌町	国道241号 国道274号	既設 移転	平成9年	一体型



<実施内容>

- 人材育成の為、商品開発に関わる地元高校生のインターンを毎年受け入れる
- 商品開発力を向上させ、地元農産畜産物の士幌ブランド化を推進する為、一連の商品化に必要な加工施設、直売所を整備
- 周辺道の駅と連携して北十勝地域の広域観光情報を発信
- 林業も盛んな十勝地域のPRを兼ねて道の駅建造物を木造で整備
- 太陽光発電と自然冷熱エネルギー施設を整備。また、周遊観光を可能とするEV充電設備を整備

- ふるさと納税の拠点を設置し地域振興を促進。
- 都市と農村の交流による移住定住のワンストップ窓口を設置し地域へ活力を誘導。

<地方創生拠点としての機能>
ゲートウェイ型

地方移住等促進
ふるさと納税に関する情報発信、取扱い拠点

地方移住等促進
移住定住ワンストップ窓口

産業振興
地域特産品の販売

高齢者福祉施設 H26整備

診療所・介護老人保健施設 H26整備

生涯学習センター生涯学習センター H28整備

認定こども園 H26整備

スポーツセンター H25改修

役場

中心市街地

国道273号

道の駅

国道241号

帯広方面からの来訪者のゲートウェイ

【上士幌2.4億円全道一】
ネットテレビPR効果

H25年度ふるさと納税全道一
H26年度上半期全道一

2013 全道ランキング
1位 上士幌 2億4350万円
2位 佐呂間町 1億0138万円
3位 浦臼町 1億0122万円

移住の地ピザで元気に
移住者による地域おこしが行われている。
道の駅運営スタッフは全国から広く公募する予定

【ナイタイ高原】
日本一広い、総面積約1,700ha(東京ドーム358個分)の公共牧場で、牛の放牧を見ることができます。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)バルーン	北海道	上士幌町	国道241号	新設	平成30年	未定

旧国鉄士幌線アーチ橋梁群

ナイタイ高原

道の駅

【旧国鉄士幌線アーチ橋梁群】
市街地から糠平、十勝三股の山岳森林地帯を南北に貫く国道273号に並行して所々に見かける、かつての国鉄士幌線で使われたコンクリート造りのアーチ橋

イメージ図であり、今後、変更があります。

<提案の先駆性・ポイント>

<実施内容>

- ふるさと納税を通じて、上士幌町の認知度が全国に広まっており、今後、納税者や来訪者に対して、移住定住の働きかけなど、都市と農村の交流を積極的に推進するための新たな拠点を形成(平成25年度寄付金額全道1位、平成26年度上半期寄付額全道1位)
- 町が推進しているコンパクトな街並み再編に合わせて、ナイタイ高原や旧国鉄士幌線アーチ橋梁群等の地域の優れた景観や飲食店・十勝ナイタイ和牛、十勝養蜂園の国産はちみつ等の特産品を一元的に案内する拠点を形成し、相乗効果による活性化を図る

- ふるさと納税に関する情報提供、取扱い拠点施設の設置
- お試し暮らし、移住定住や空き家情報のワンストップ窓口の設置
- 農産物直売所、地元加工品の販売
- 観光総合案内所の設置
- 雇用機会の創出
- コミュニティバスの停留所、EV充電器の設置
- 防災情報拠点整備
- 交流機能の新設(飲食・休憩)
- 無料公衆無線LANの設置

○ 観光案内所に「旅の案内人」が常駐するなど先駆的な取り組みを行っているが、更なる機能の充実として、「外国人観光客」へ地域の歴史や文化を含めた情報発信及び受け入れ体制の強化を実施し、地域を活性化。

＜地方創生拠点としての機能＞
ゲートウェイ型

観光総合案内
「摩周湖」等観光のゲートウェイ

インバウンド観光
地域の歴史・文化発信

産業振興
地場産品情報の発信

屈斜路湖砂湯

川湯温泉

摩周湖展望台

「旅の案内人」による観光案内

「道の駅」を活用した交通機関乗り放題の周遊観光
冬季の観光シーズンにも運行

利用路線図

「道の駅」摩周温泉

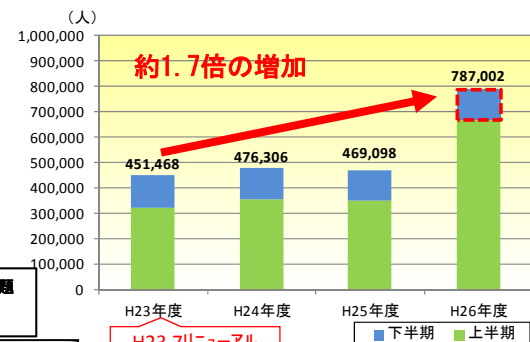
900草原

冬の体験プログラム（スノー体験・ザイェンダグス体験）を実施

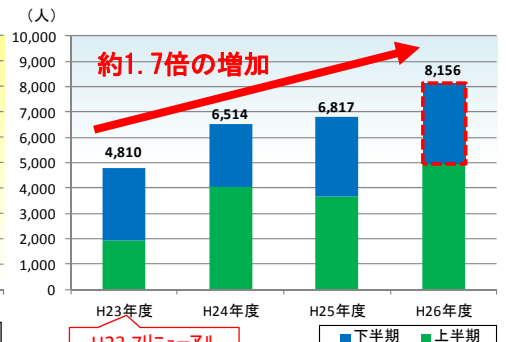
至阿寒湖

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
摩周温泉	北海道	弟子屈町	国道241号	既設	平成5年	一体型

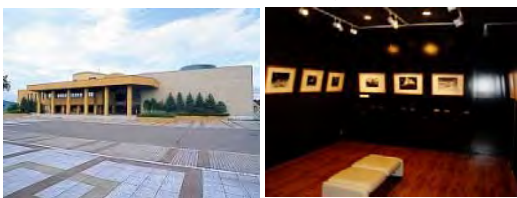
▼ 「摩周温泉地区」観光入込み客の推移



▼ 弟子屈町外国人宿泊者数の推移



▼ 「道の駅」で地域を知る
摩周観光文化センターと連携した展示を実施



▼ 地域が一丸となって、地場産品を用いた商品開発及び「道の駅」での販売による地域の魅力を発信



＜提案の先駆性・ポイント＞

- 道東地域の観光の玄関口的な役割を担うため、「摩周湖」「屈斜路湖」を代表する変化に富んだ観光資源を案内。入り込み客数が減少する冬期に、4種類の体験プログラムの案内や「道の駅」を活用した交通機関乗り放題の周遊パスポートを発券を実施。
- 特に冬場の落ち込みが少ない「外国人観光客」へ、地域の歴史や文化を通じて観光情報を発信し、受け入れ体制を強化。

＜実施内容＞

- 多言語に対応した案内所の体制づくり
→ 多言語通訳者の配置、標識看板の設置、案内看板の設置
- 弟子屈町の魅力などを通じた、知的好奇心を刺激する情報提供の整備
→ 弟子屈町の魅力（自然・観光地・歴史・文化）及び地場産品による食の情報提供